

決算説明資料

2021年3月期 第1四半期

株式会社ユビキタスAIコーポレーション

代表取締役社長 長谷川 聡

2020年8月14日

Index

- 第 1 四半期業績の概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

第 1 四半期業績の概要

第1四半期（累計期間）の概況

業 績

- ・ コロナ禍の影響を受け売上高・営業利益ともに減少
- ・ 連結売上高 : 314百万円（前年同期比 37.9%減）
- ・ 連結営業損失 : 158百万円（前年同期 営業損失31百万円）

セグメント別概況

ソフトウェアプロダクト事業

高速起動は車載機器関連のロイヤリティ売上が減少、コネクティビティ&セキュリティは自社製品開発注力、受託開発をソフトウェアサービス事業へ移管したことで売上減

ソフトウェアディストリビューション事業

自動車関連売上がコロナ禍及び商材消失の影響で売上減、その他も全般的にコロナ禍の影響を受け売上減

ソフトウェアサービス事業

車載機器関連のコンテンツライセンス売上がコロナ禍の影響で売上減、大型案件の期ズレ及び一部顧客予算縮小により売上減

連結損益計算書

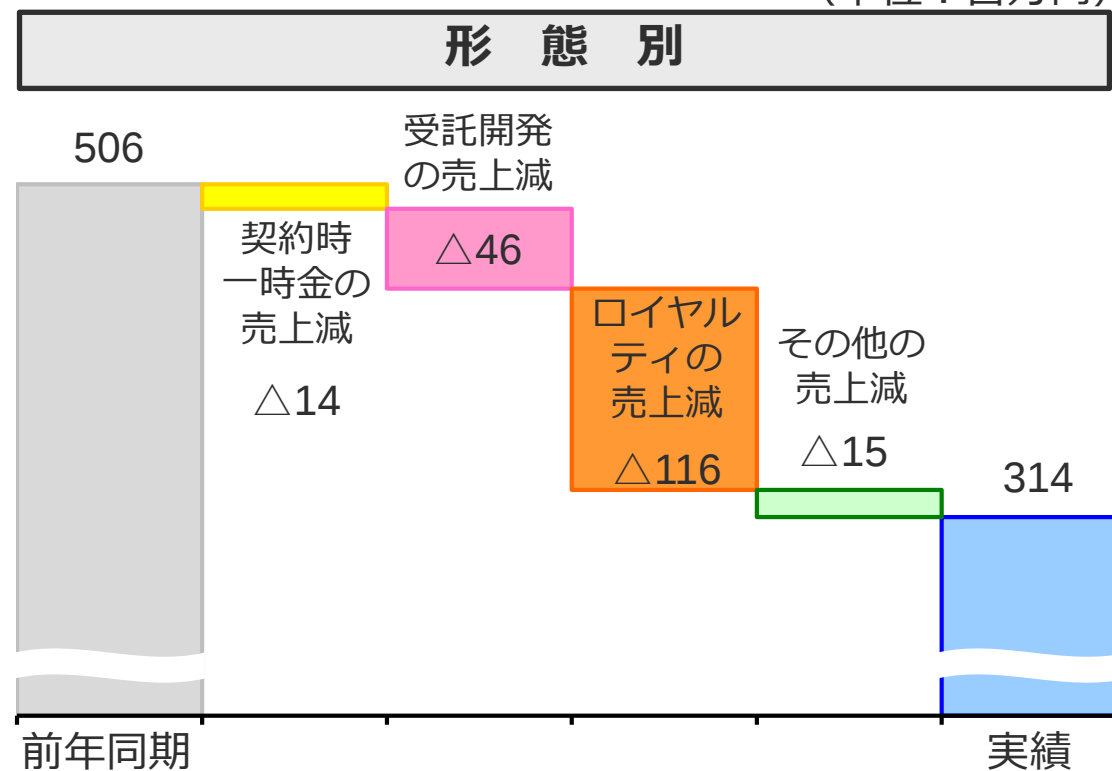
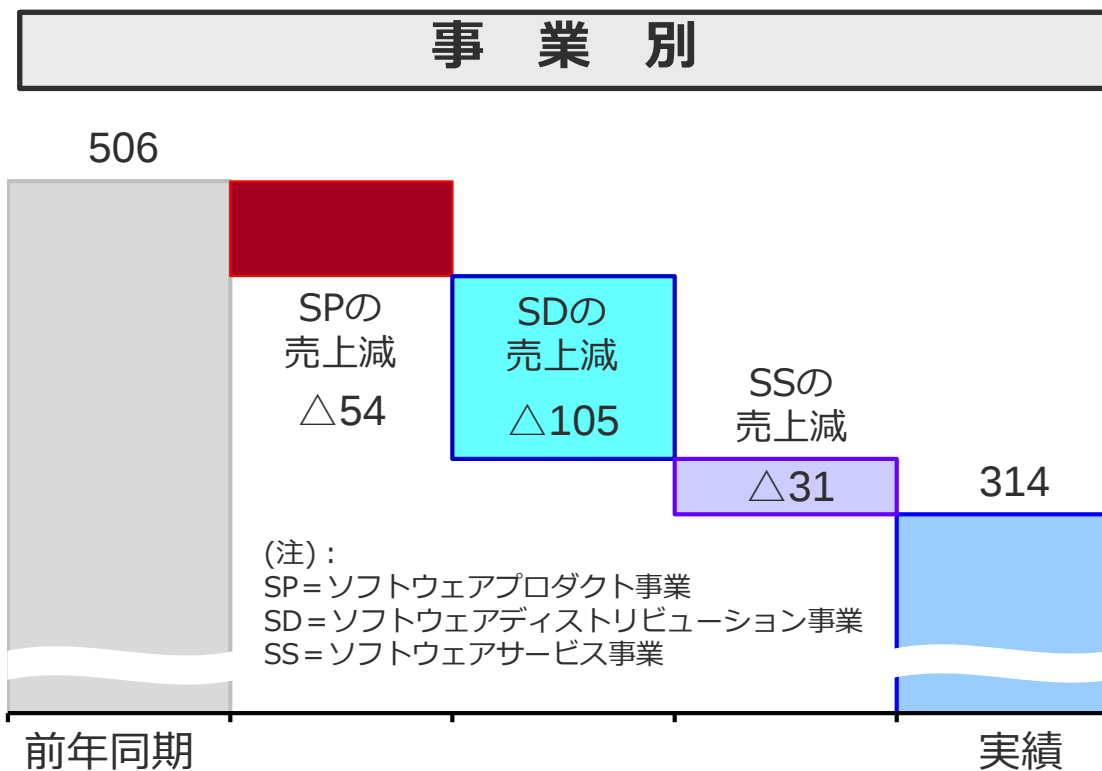
(単位：百万円)

	前年同期	2020/3期 (第1四半期)	増減
売上高	506	314	△191
売上原価	281	209	△71
売上総利益	225	105	△120
販管費	257	263	6
営業利益	△31	△158	△126
営業外損益	1	2	1
経常利益	△30	△155	△125
特別損益	-	-	-
法人税等	5	23	18
当期純利益(※)	△35	△179	△143

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比：売上高

(単位：百万円)

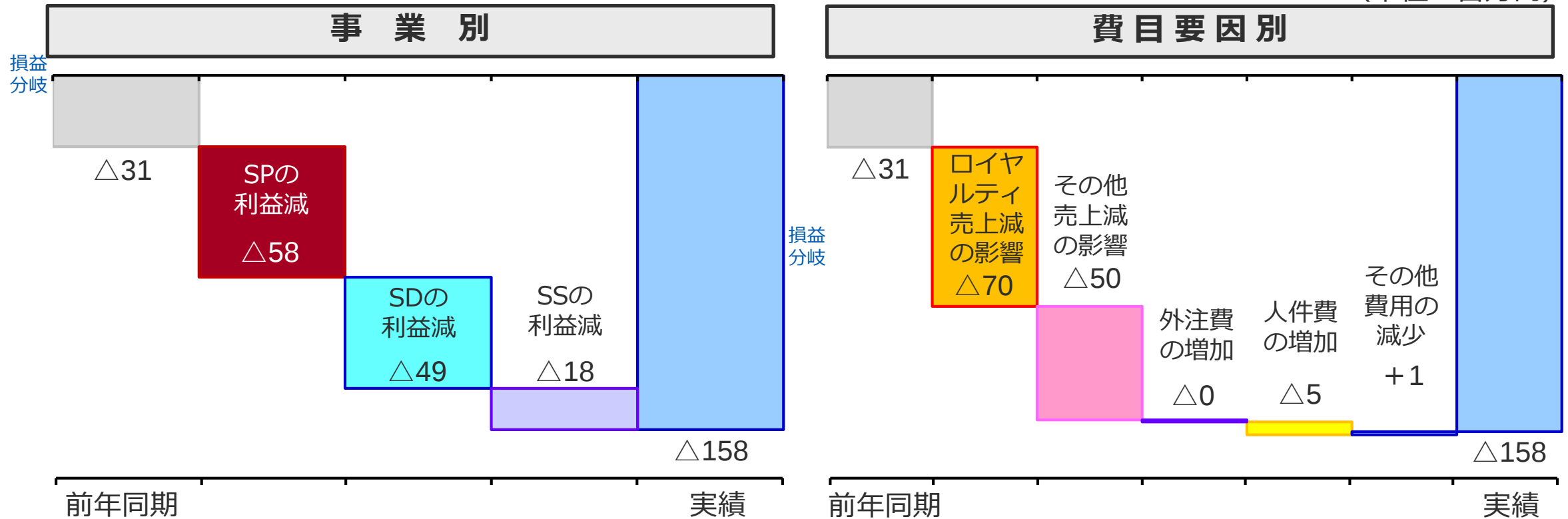


■ 前年同期比 売上高：減少

- SP事業： 全般的に売上減、高速起動は車載機器関連、コネクティビティ&セキュリティは受託開発減が大きく影響
- SD事業： 全般的に売上減、コロナ禍と商材消失による自動車関連売上減が大きく影響、その他売上もコロナ禍が影響
- SS事業： 全般的に売上減、コロナ禍の影響による車載機器関連のコンテンツライセンス、受託開発案件に影響

前年同期比：営業利益

(単位：百万円)



■ 前年同期比 営業利益：減少

- SP事業、SD事業、SS事業全体で売上減の影響により、営業利益が減少

コロナ禍の業績への影響

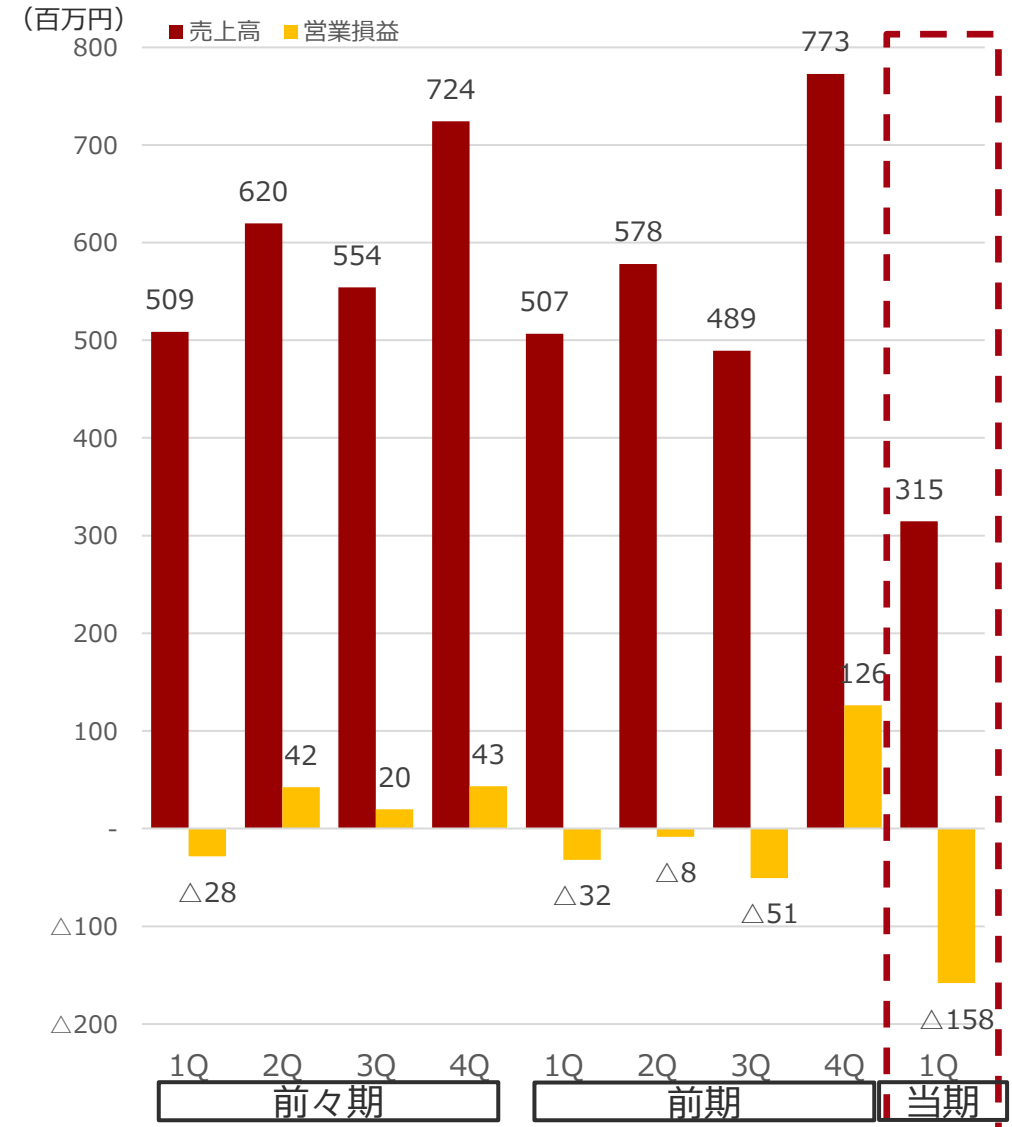
■ 当第1四半期業績への影響

- 世界規模での自動車販売台数の大幅な減少に伴い、当社顧客製品の出荷、販売数も減少、SD事業の一部商材消失もあり、車載機器関連売上へ大きく影響
- 継続案件の受託開発は概ね計画通り進行したが、新規案件は製品販売・受託開発とも販売機会の減少、顧客での検討に時間を要するケースが多く、低調

■ 2021年3月期の業績予想

- 7月以降は自動車販売台数が回復傾向にあるが、大手サプライヤーを中心に費用抑制傾向に有り、第2四半期以降の自動車関連製品売上高を現時点で合理的に見積もるのは困難
- 営業活動は、Webinar（Webを活用したセミナー、製品紹介）を中心とした、新たな取り組みを積極的に行っているが、売上への効果が見込めるのは第3四半期以降
- 当社グループにおける第1四半期の業績が、通期業績に占める割合も考慮し、現時点における業績予想の修正は行わない
- 第2四半期業績等を勘案し、業績予想の修正を検討・実施予定

【参考】四半期 連結業績推移



連結貸借対照表（資産の部）

（単位：百万円）

	2020/3月末	2020/6月末	増減
現金・預金	934	953	18
受取手形・売掛金	740	341	△399
有価証券	800	900	100
棚卸資産	-	18	18
前払費用	59	59	-
その他流動資産	27	27	-
流動資産	2,563	2,301	△261
のれん	316	263	△52
その他固定資産	397	389	△7
固定資産	714	653	△60
資産合計	3,277	2,955	△322

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

（単位：百万円）

	2020/3月末	2020/6月末	増減
買掛金	160	71	△88
未払金	38	13	△24
前受金	91	89	△1
その他流動負債	92	53	△39
流動負債	382	228	△154
固定負債	82	82	0
資本金	1,483	1,483	0
資本剰余金	1,453	1,453	0
利益剰余金	△159	△339	△179
その他純資産	35	46	10
純資産	2,812	2,644	△168
負債・純資産合計	3,277	2,955	△322

通期業績予想（連結）に対する進捗

（単位：百万円）

	通期 業績予想	第1四半期 実績	進捗率（%）
売上高	2,362	314	13.3
営業利益	12	△158	—
経常利益	12	△155	—
純利益	△46	△179	—

セグメント及び 製品分野別動向と取り組み

前年同期比:セグメント及び製品分野別売上高

(単位:百万円)

セグメント	分野	前年同期 (連結)	2021/3期 第1四半期 (連結)	増減率
ソフトウェアプロダクト事業	コネクティビティ&セキュリティ	31	11	△63.8
	高 速 起 動	95	66	△30.1
	デ ー タ ベ ー ス	23	17	△25.3
	小計	150	95	△36.4
ソフトウェアディストリビューション事業		270	164	△39.0
ソフトウェアサービス事業		86	54	△36.8
合計		506	314	△37.9

前年同期比:セグメント別売上及び利益

(単位:百万円)

		前年同期 (連結)	2021/3期 第1四半期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	150	95	△54
	セグメント利益	14	△43	△58
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	270	164	△105
	セグメント利益	※1 △36	※1 △85	△49
ソフトウェアサービス 事業	売上高	86	54	△31
	セグメント利益	※2 △10	※2 △28	△18

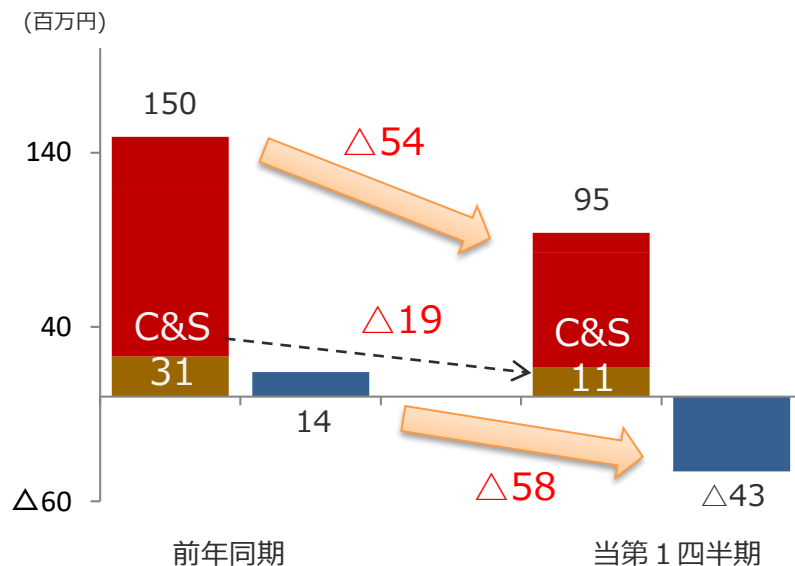
※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 26百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 25百万円を含めております。

前年同期比:セグメント別売上及びのれん償却前利益

(単位:百万円)

		前年同期 (連結)	2021/3期 第1四半期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	150	95	△54
	セグメント利益	14	△43	△58
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	270	164	△105
	セグメント利益	△9	△59	△49
ソフトウェアサービス 事業	売上高	86	54	△31
	セグメント利益	15	△2	△18

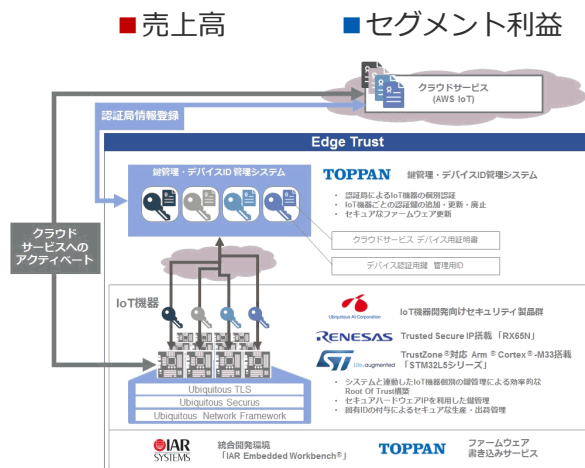


■ 当四半期概況

- 「Edge Trust」関連の半導体メーカーとの研究開発案件で売上を計上
- スマートエネルギー関連の受託開発案件で売上を計上
- サーバーワークス社と、アマゾンウェブサービスが提供するAWS IoTと「Edge Trust」の組み合わせによる、セキュアなIoTサービスを提供する協業を発表

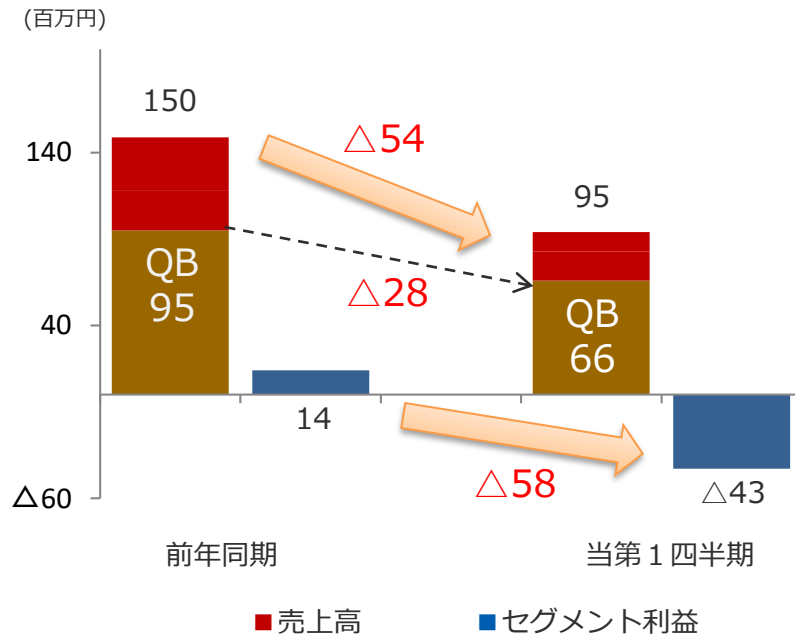
■ 取組方向性

- 「Edge Trust」を中心としたIoTセキュリティ分野での事業展開に注力、組込みからクラウドまで、セキュアなIoTサービスを実現するために必要な幅広い分野のパートナーとの連携を強化
- 車載、産業、IoT分野を中心としたセキュリティ関連製品の拡販活動



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、コネクティビティ & セキュリティ関連のみの売上です。

ソフトウェアプロダクト事業 高速起動関連



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上です。

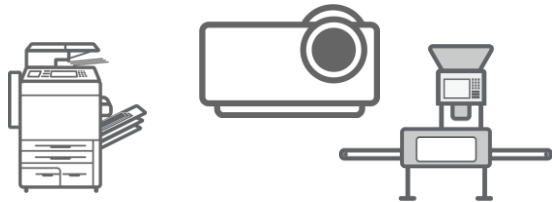
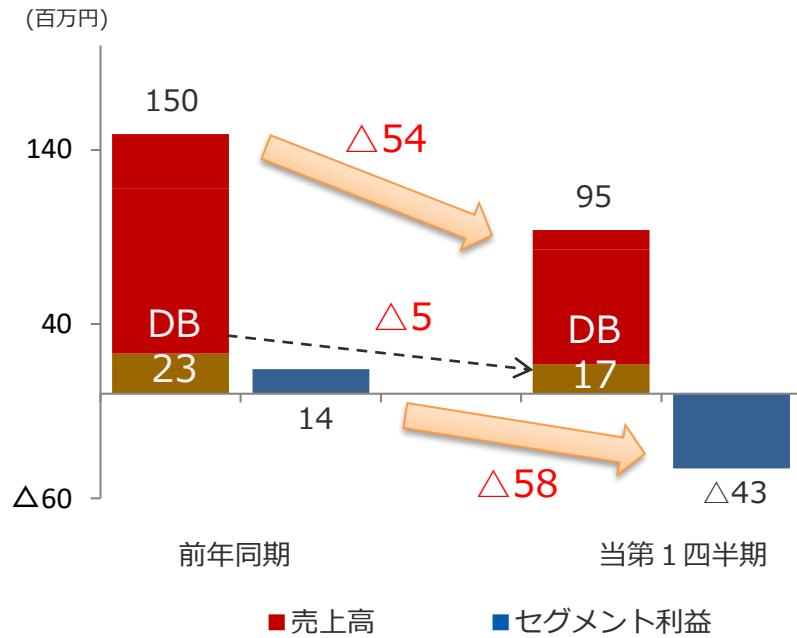
■ 当四半期概況

- 車載機器関連、海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上
- カーナビ等車載向け機器を中心に複数社との間で大・中規模案件の研究開発が継続中

■ 取組方向性

- 海外市場向けの販売を強化
- 車載情報端末以外の車載機器向けの拡販を強化
- 電源断対応ファイルシステムや仮想化技術、セキュアブートなどの機能組み合わせなど付加価値の高いソリューション化、クロスセルを推進
- 次世代技術開発の継続

ソフトウェアプロダクト事業 データベース関連



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上です。

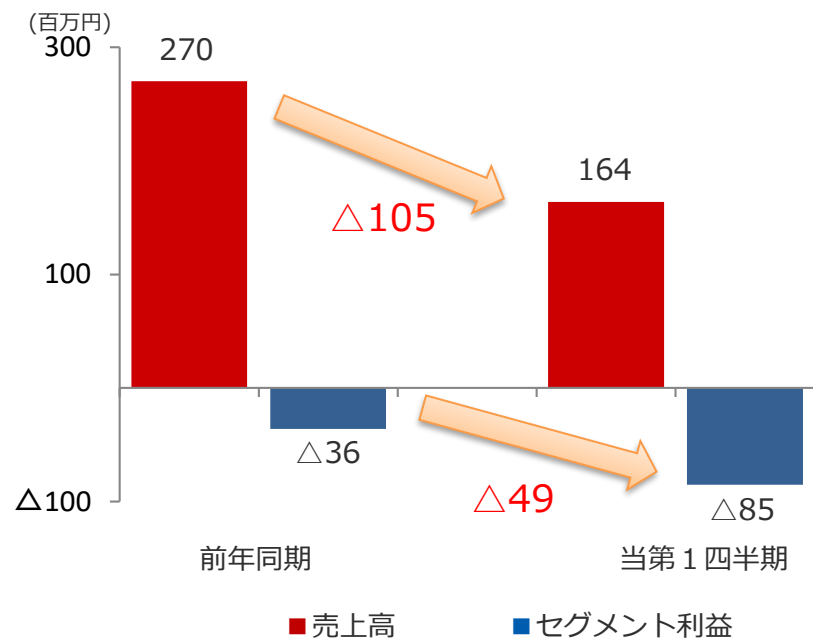
■ 当四半期概況

- 産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■ 取組方向性

- 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器などに向けた拡販

ソフトウェアディストリビューション事業



■ 当四半期概況

- BIOS製品：ノートブックPCの既存顧客から「Insyde H2O *1」のロイヤルティ売上等を計上
- 品質向上支援ツール製品：車載機器、医療機器等の既存顧客から「CodeSonar *2」の年間ライセンスのリピート売上及びサポート売上等を計上
- ワイヤレス製品：車載機器等の既存顧客から「Blue SDK *3」のロイヤルティ売上等を計上
- AIソリューション製品：車載機器の既存顧客から「CoDriver *4」のロイヤルティ売上等を、産業機器の新規顧客から「GenSynth *5」（ディープラーニングモデル最適化プラットフォーム）の年間ライセンスを計上
- その他、多数の取扱い製品より、新規、既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■ 取組方向性

- コロナ禍による変化へのニーズに対応した製品・技術の発掘
- AI関連製品の製品取扱を強化（当四半期で2製品の新規取扱開始）
- 自動車関連のツール取扱強化として、エー・アンド・デイ社と業務提携、車載システムソフトウェア開発用 シミュレーターを共同開発開始、2021年4月発売を目指す
- 年間利用ライセンス契約により収益安定貢献の高いソフトウェア品質向上支援等のツール製品を重点的に販売促進

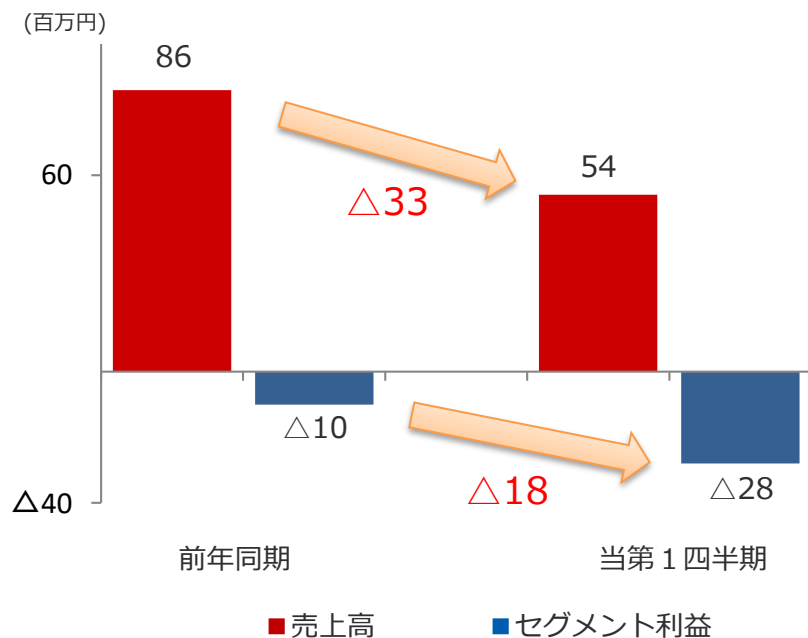
*1 Insyde H2O: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*2 CodeSonar: ソフトウェアの動作不具合、脆弱性をソースコードのコンパイル時に静的解析し、バグを検出するツール

*3 BlueSDK: Bluetoothプロトコルスタック

*4 CoDriver: ドライバーモニタリングシステム

*5 GenSynth: ディープラーニングモデル最適化プラットフォーム



■ 当四半期概況

- 既存顧客からの各種受託開発売上を計上
- 車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツに関するライセンス使用料売上等を計上

■ 取組方向性

- 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的な確保と、協業提案による新たな取り組み
- 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サタマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウユミ

アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

トピックス

■ 提供開始の背景

- ## ■ 「CoMedico SDK」の主な特長

-
- The figure is a composite image. The top half shows a person lying on a couch, looking at a computer monitor. The monitor displays a 'HAND-RAISE' test. The person's hand is raised, and the monitor shows a green line indicating the hand's position. The monitor also displays a list of test results, including 'Hand-Raise' and 'Eye' tests, with various confidence scores and error rates. The bottom half of the figure shows a close-up of the person's eyes, with a green line indicating the eye's position. The monitor also displays a list of test results, including 'Eye' tests, with various confidence scores and error rates.

サーバーワークスと協業 (6/17)

AWS上でのセキュアなIoTサービスを実現するソリューションの提供を開始

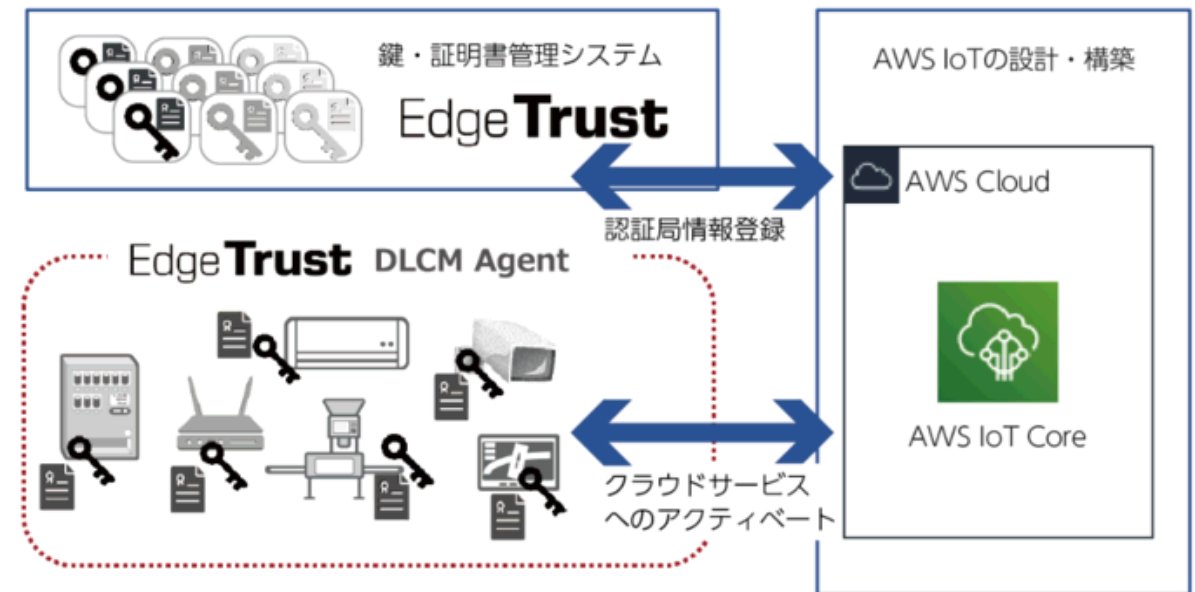
AWSを活用したクラウドのシステム構築から機器開発まで、
セキュアなIoTサービスを実現するための提案がワンストップで可能となる

■ 協業の背景

- IoTデバイスのなりすましや通信の傍受を防ぐため、IoTデバイスの個体を識別し、個体ごとの暗号鍵で通信経路を暗号化する高い技術力が必要
- AWS IoT利用のための開発とサポートには、高度なノウハウが必要

■ 協業の目的

- 両社の得意とする技術の組み合わせで、AWS環境におけるセキュアなIoTプラットフォームの開発、提供をサポート



エー・アンド・デイと業務提携（7/1）



車載向けハードウェア製品で強みを持つ同社と、車載システムソフトウェア開発用シミュレーターを共同開発

PCのみでの制御ソフトウェア検証を可能に（2021年4月 販売開始予定）

■ SILS※1/HILS※2の連携でテスト効率を大幅に改善

- 「CASE」領域での技術革新への対応は、車載システム開発メーカー各社にとって喫緊の課題
- 車載ソフトウェア開発が大規模化・複雑化するなか、SILSとHILSとの連携が、開発の効率化に有効な手法

■ 本製品の主な特長

- 開発環境構築期間が短い（最短数日～）
- HILSでのテストケースの再利用が可能
- パフォーマンス、タイミング検証が可能
- 自動テスト機能
- 顧客ニーズに合わせた柔軟なライセンス体系（リモートワークにも対応可能）

ユビキタスAIコーポレーション

車載向けソフトウェア製品の取り扱い

- ソフトウェア開発向け検証ツール
- ソフトウェア品質向上支援ツール
- 各種OS・ミドルウェア製品

30年を超える販売サポート実績

エー・アンド・デイ

車載向けハードウェア製品の取り扱い

- 自動車関連の試験ソフトウェアiTest
- 実ECU検証のHILS製品
- さまざまな計測・制御システム

高精度な電子計測機器を提供

実機を使用せずPCで完結したソフトウェアシミュレーション

SILS (Software In the Loop Simulator : 本製品)

ハードウェアが存在しない早期フェーズでの検証着手
ソフトウェアのみで構成され検証工程のコストを低減
開発様式の多様化（リモート）に応じた、1人1台の利用環境



※1 SILS (Software-in-the-loop simulation)

: 制御装置と制御対象等のソースコードを用いたシミュレーション

※4 HILS (Hardware-in-the-loop simulation)

: 実制御装置ECUと仮想制御対象等を用いたシミュレーション

IoTシステムとブロックチェーンを組み合わせた データ改ざん防止ソリューションに関する独自技術を開発、特許取得へ（7/9）

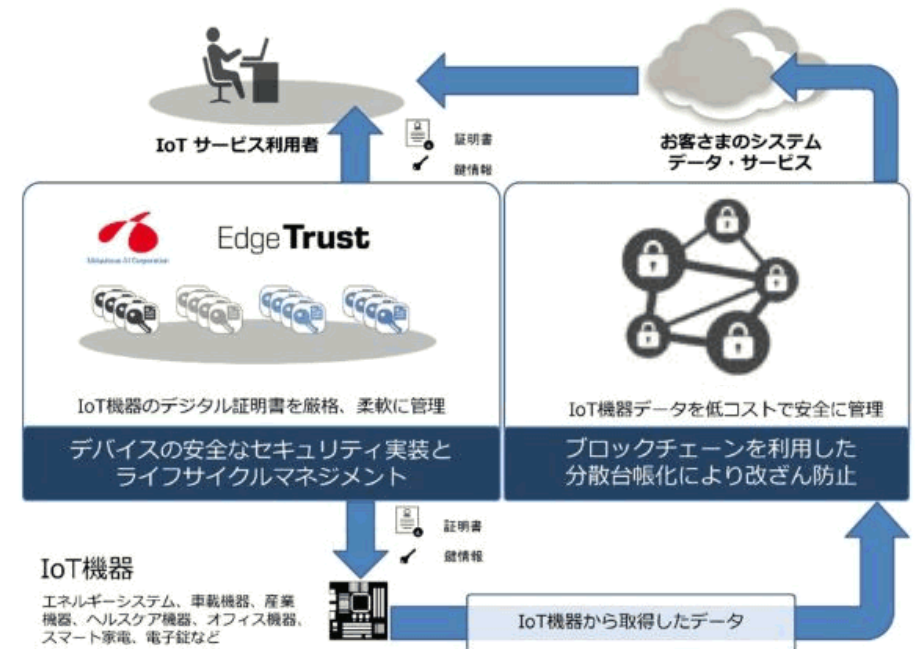
ブロックチェーンを活用し、
IoTシステムに適した長期的なデータの改ざん防止とトレーサビリティを実現

■ 特許申請した独自技術の内容

- IoTシステムでブロックチェーンを活用
- 機器ごとに個別の識別情報やタイムスタンプなどの時刻情報を紐づけ、収集される情報の確からしさと、データのトレーサビリティをIoT機器やイベント単位で強化

■ 今後の取り組み

- 取り扱うデータの長期的なデータ保証を可能にし、さらなるセキュリティレベルの向上と、ソリューションの適用範囲を拡大
- 「Edge Trust」の提供サービスの一つとして、IoT機器のライフサイクルマネジメントとともに提供



Appendix

2021年3月期 第1四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第1四半期	5月12日	■ ユビキタスAIコーポレーションとPTCジャパンが協業、組込みソフトウェアとIIoTプラットフォームの連携で産業機器のIoT化を支援
	5月13日	■ ユビキタスAIコーポレーション、AIを活用した非接触ヒューマン・マシン・インターフェース「MagiaTouch」を提供開始 ～タッチレス操作で接触感染防止、新たなユーザー体験を実現するHMIソリューション～
	5月19日	■ ユビキタスAIコーポレーション、SPI NAND用電源断対応ファイルシステム「Reliance EdgeNAND™」を5月19日より提供開始 ～AIや通信機能を実装する組込みシステムを突然の電源断によるデータ破損から守る～
	6月 9日	■ ユビキタスAIコーポレーション、AIを活用した遠隔患者モニタリング「CoMedico SDK」を提供開始 ～単眼カメラでリアルタイムに患者のバイタルなどのモニタリングを実現～
	6月17日	■ サーバーワークスとユビキタスAIコーポレーションが協業、AWS上でのセキュアなIoTサービスを実現するソリューションの提供を開始
第2四半期 (参考)	7月 1日	■ ユビキタスAIコーポレーションとエー・アンド・デイが業務提携 ～車載システムソフトウェア開発用シミュレーターを共同開発SILS/HILSの連携でテスト効率を大幅に改善～
	7月 9日	■ ユビキタスAIコーポレーション、Tuxeraと代理店契約を締結、外付けストレージ向けの高性能NTFSファイルシステム「Microsoft NTFS by Tuxera」を7月9日より提供開始
	7月 9日	■ ユビキタスAIコーポレーション、IoTシステムとブロックチェーンを組み合わせたデータ改ざん防止ソリューションに関する独自技術を開発、特許取得へ

Connecting the Future



Ubiquitous AI Corporation